

あおたけ

まきび病院家族会機関紙 事務局
〒710-1301 岡山県倉敷市真備町箭田 2387
(086) 698-6511 2010.7 第 145 号
ホームページアドレス <http://www.ne.jp/asahi/m/0/aotake/>

<第 22 回定期総会のご報告>

5 月 23 日、多数のご参加を得て開催され、皆様のご協力により無事事業・予算決算の承認をいただきました。

総会終了後、一色院長より「まきび病院から見た現代を語る～私たちは今、どう生きるべきか～」をテーマに記念講演が開かれました。

まず、まきび病院開院前に強い信念と問題意識を持って当時の隔離収容の臨床現場に臨み、家族の方に閉鎖病棟への疑問を投げかけられた歴史を語られました。倉敷に無料夜間診療所を設け、人権解放運動を展開する教員や弁護士と連帯し、外（地域）からの視点で病棟での管理や強制を改革していかれ、当時まだ少なかった思春期を対象として開設されたのがまきび病院でした。

「30 年間現場を維持し続けてきたが、犯罪を犯した人たちを精神科病院に合法的に隔離する法律ができ、社会がより差別と偏見を助長する風潮ができてしまいました。銃刀法という法律が改悪され、精神科医に責任を押し付けられている。戦わないといけないことが多くなってきている。

精神医療は社会の変動に常に反映される現場であり、そこで働くことに誇りを感じています。

家族の方も問題意識を持ち続け『専門家』に任せっぱなしではいけない。一緒に戦ってほしい、人としてユーモアを解することができる人となってほしい」と熱いメッセージをいただきました。

質疑：「まきび病院のような全開放病棟

は増えていっているのでしょうか？」
応答「閉鎖を前提としない開放病棟が当院の基本理念です。こういうあり方が広がってほしい」

6 月定例会のご報告

6 日（日）岡山市足守の近水園にて、11 名の参加を得て交流会が開かれました。

好天に恵まれ、庭園散策や食事のにぎわいました。

お知らせ

7 月定例会は 25 日（日）13：30～マインドホールにてテーマ「一人暮らしをしている人の話を聞こう」坂本さんのビデオと話をうかがう予定です。

8 月定例会は 28 日（土）13：30～マインドホールにて写真や電話により患者さんの病状や薬の影響を疑似体験する予定です。おひとり 30 分くらいの時間がかかりますので予めご了承ください。

9 月 25（土）～26 日（日）全国精神障害者連合会全国大会が岡山大学にて開催されます。講演や分科会などが設けられています。詳細はまきび病院外来の掲示板にご案内しておりますのでご覧ください。参加希望の方は 7 月 24 日ころまでに事務局までお申し込みください。参加経費の半額を家族会から補助いたします。

会員の皆様には 5 月定期総会の資料を同封してお送りしていますのでご確認ください。